

株式会社シダー

2018年3月期 決算説明会資料



いつも春の陽だまりでありたい...



# 会社概要

(2018年3月31日現在)

設立	1981年4月
本社	福岡県北九州市
資本金	4億3228万円
事業内容	デイサービス
	訪問看護
	介護付有料老人ホーム
	ホームヘルプサービス
	ケアプラン
	グループホーム
	ショートステイ
	福祉事業部 障害支援事業
従業員数	1,864名
事業所数	103カ所



シダー本社ビル

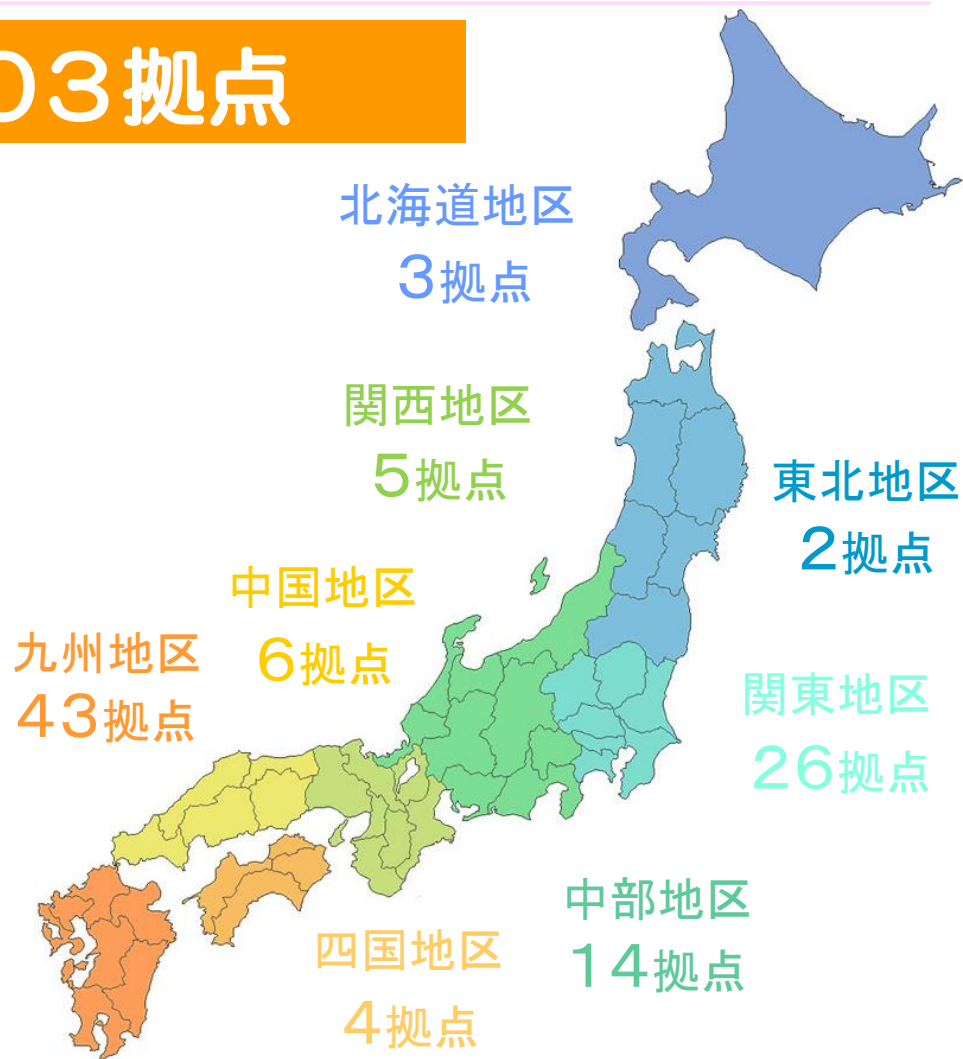


# 現在の拠点数

(2018年3月31日現在)

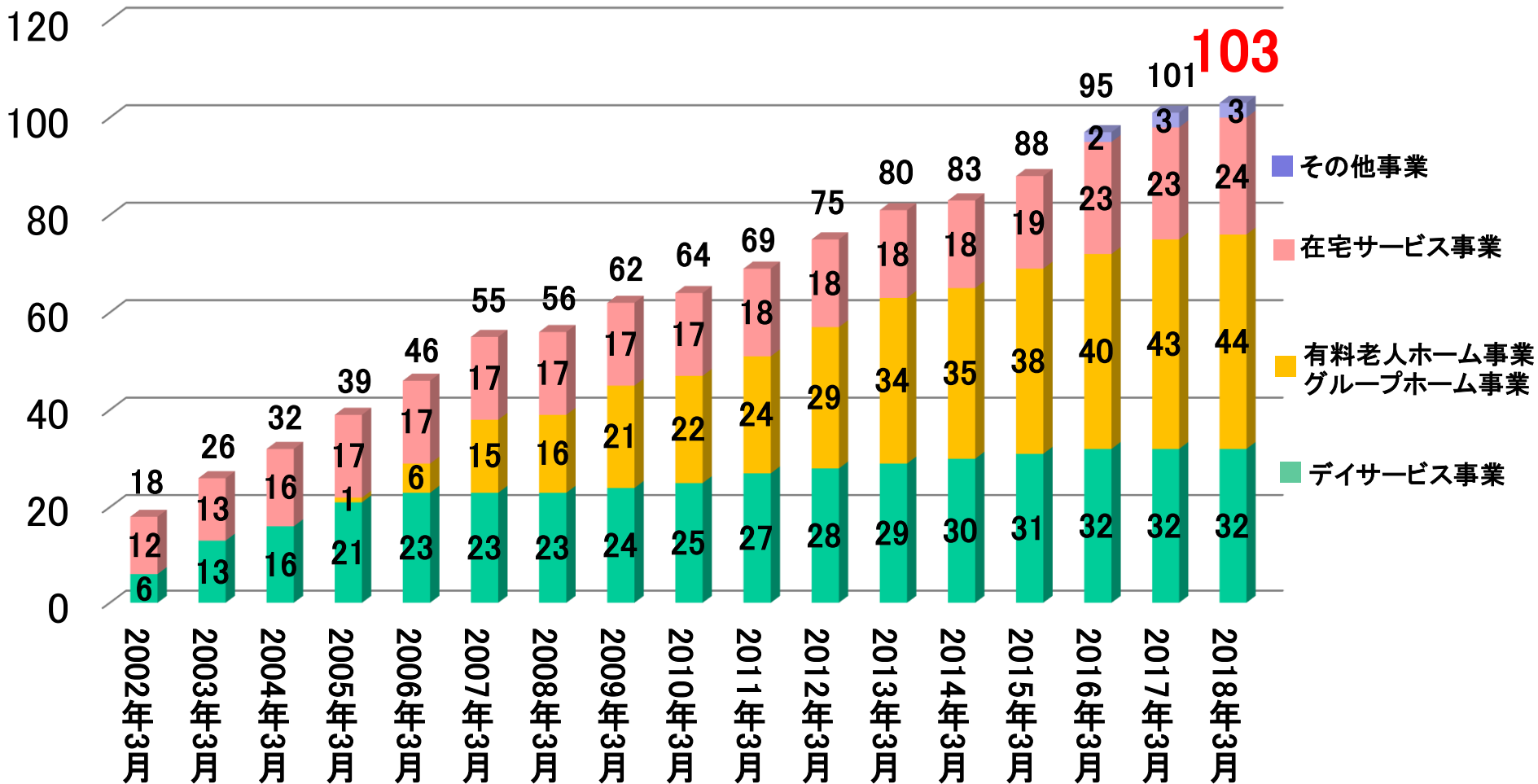
全国 103拠点

事業名	拠点数
デイサービス	32
有料老人ホーム	41
訪問看護ステーション	6
ヘルパーステーション	3
ケアプランセンター	15
グループホーム	3
福祉用具販売	1
福祉用具レンタル	1
就労支援A型事業所	1



# 事業所数推移

(事業所数)



# 目次

- 2018年3月期決算概況
- 2019年3月期決算予想
- 配当について
- 今後の事業計画
- 今後の課題

# 2018年3月期決算概況

CEDAR



# 2018年3月期決算概況

---

## ハイライト

- 売上高は、主に、デイサービス事業及び有料ホームの既存店での稼働率が堅調に推移。
- 営業利益及び経常利益は、上記の施設稼働率の向上と新規施設の出店費用が抑えられたため、大幅に改善。

# 2018年3月期決算概況

(単位:百万円)

	2017年3月期 (通期)	2018年3月期 (通期)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	12,733	13,861	1,128	8.9%
営業利益	145	535	389	268.3%
経常利益	△136	250	387	—
純利益	△137	224	361	—

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」



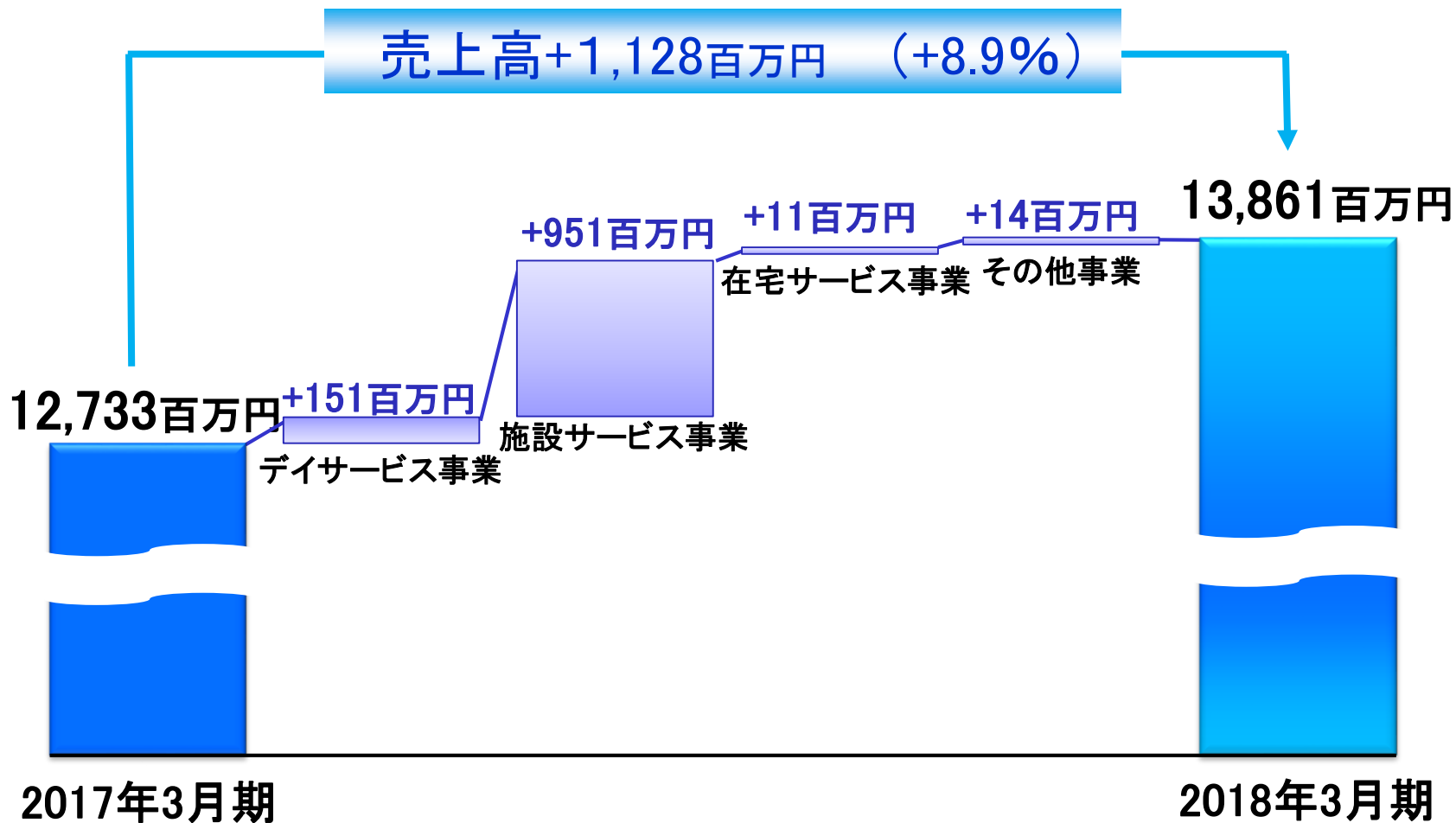
# 2018年3月期セグメント別売上高

(単位:百万円)

売上高	2017年3月期 (通期)	2018年3月期 (通期)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	3,379	3,530	151	4.5%
施設サービス事業	8,464	9,416	951	11.2%
在宅サービス事業	842	853	11	1.3%
その他事業	46	61	14	30.8%
全事業合計	12,733	13,861	1,128	8.9%

# 2018年3月期セグメント別売上高

■ 増加要因



# 2018年3月期セグメント別営業利益

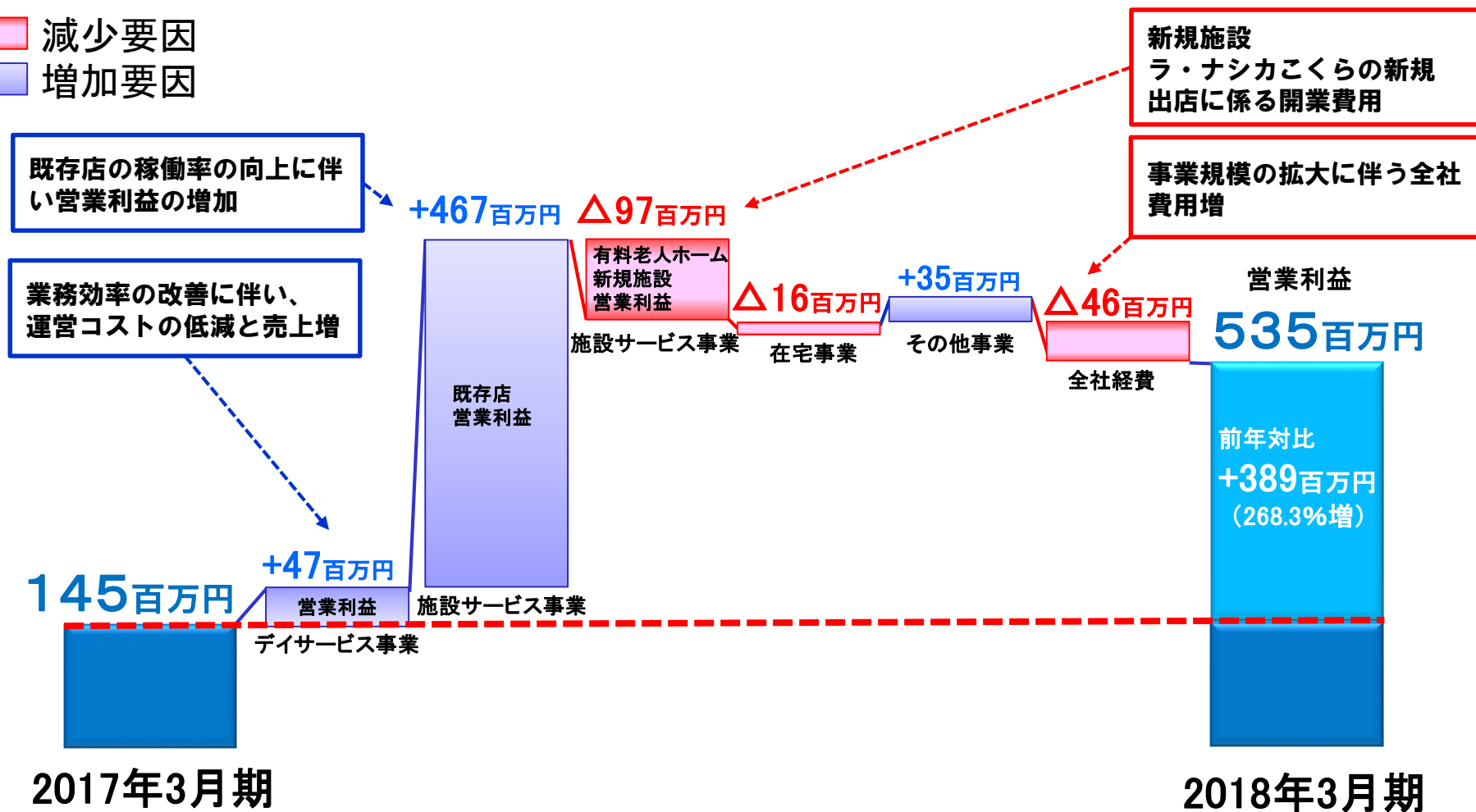
(単位:百万円)

売上高	2017年3月期 (通期)	2018年3月期 (通期)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	406	453	47	11.7%
施設サービス事業	607	977	370	60.9%
在宅サービス事業	△ 51	△ 67	△ 16	—
その他事業	2	37	35	—
全社費用	△ 819	△ 866	△ 46	—
全事業合計	145	535	389	268.3%

※その他事業の対前年増減比は、1,000%を超える為、「—」と記載しております。

# 2018年3月期セグメント別営業利益の主な増減要因

- 減少要因
- 増加要因



# 2019年3月期決算予想

CEDAR



CEDAR

株式会社シダー

いつも春の陽だまりでありたい



# 2019年3月期決算予想

## 2019年3月期の計画概要

- 売上高は、昨年、老人ホームの新規出店を抑えたため、伸長率は鈍化するも既存店の高稼働率を維持する計画により、増収予想。横浜市鶴見区に有料老人ホームを1施設、熊本市東区にデイサービスを1施設開設予定。
- 営業利益及び経常利益は、上記の施設稼働率の向上により、営業にかかる経費が低減し、増益予想。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、繰越欠損金の解消により、税金費用が増加することで最終減益予想。

# 2019年3月期決算予想

(単位:百万円)

	2018年3月期 (通期)	2019年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	13,861	14,346	484	3.5%
営業利益	535	620	85	15.9%
経常利益	250	328	77	31.0%
純利益	224	204	△19	△8.5%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

# 2019年3月期セグメント別予想売上高

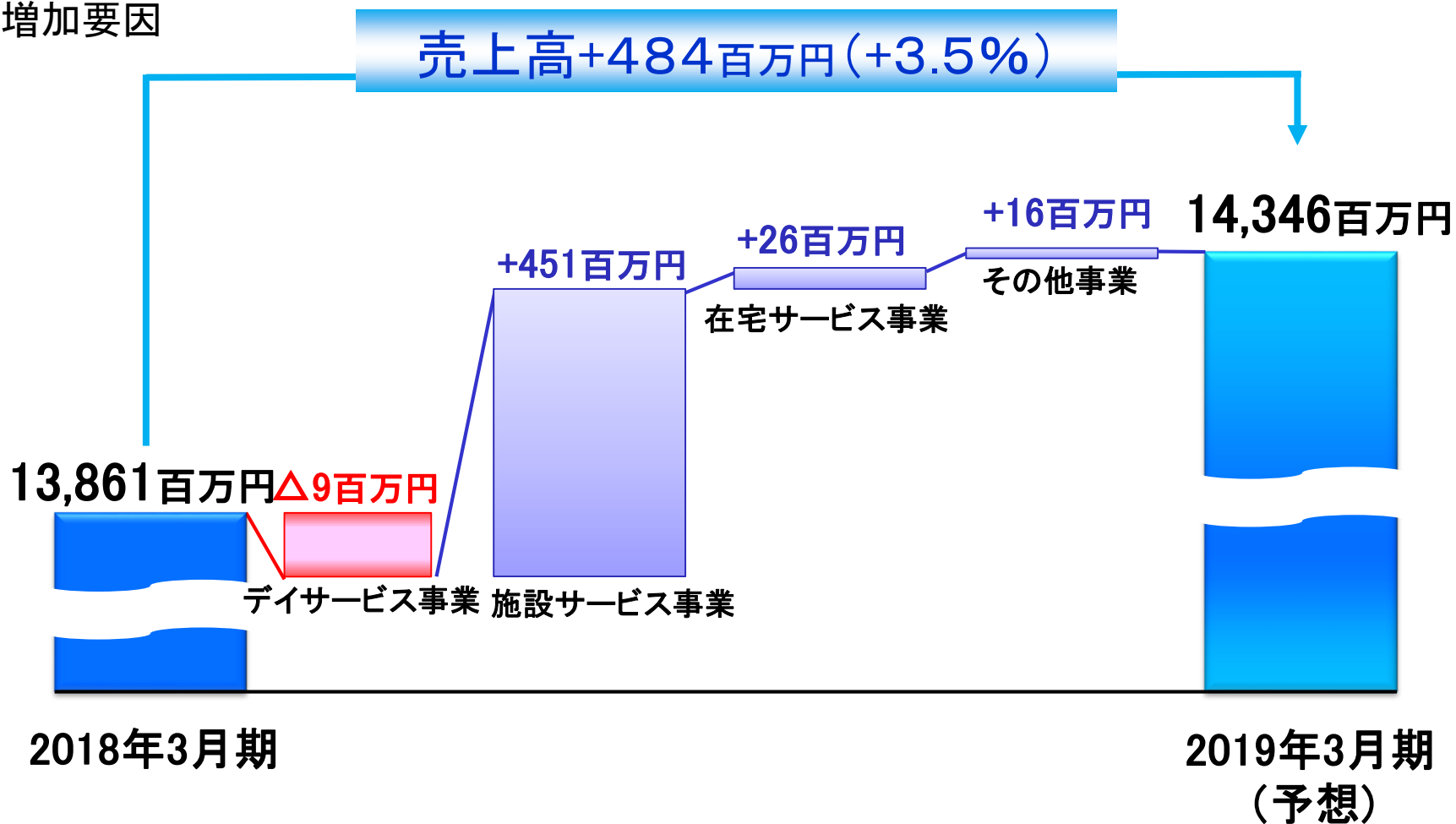
(単位:百万円)

売上高	2018年3月期 (通期)	2019年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	3,530	3,521	△9	△0.3%
施設サービス事業	9,416	9,867	451	4.8%
在宅サービス事業	853	880	26	3.1%
その他事業	61	77	16	26.7%
全事業合計	13,861	14,346	484	3.5%



# 2019年3月期セグメント別予想売上高の主な増減要因

- 減少要因
- 増加要因



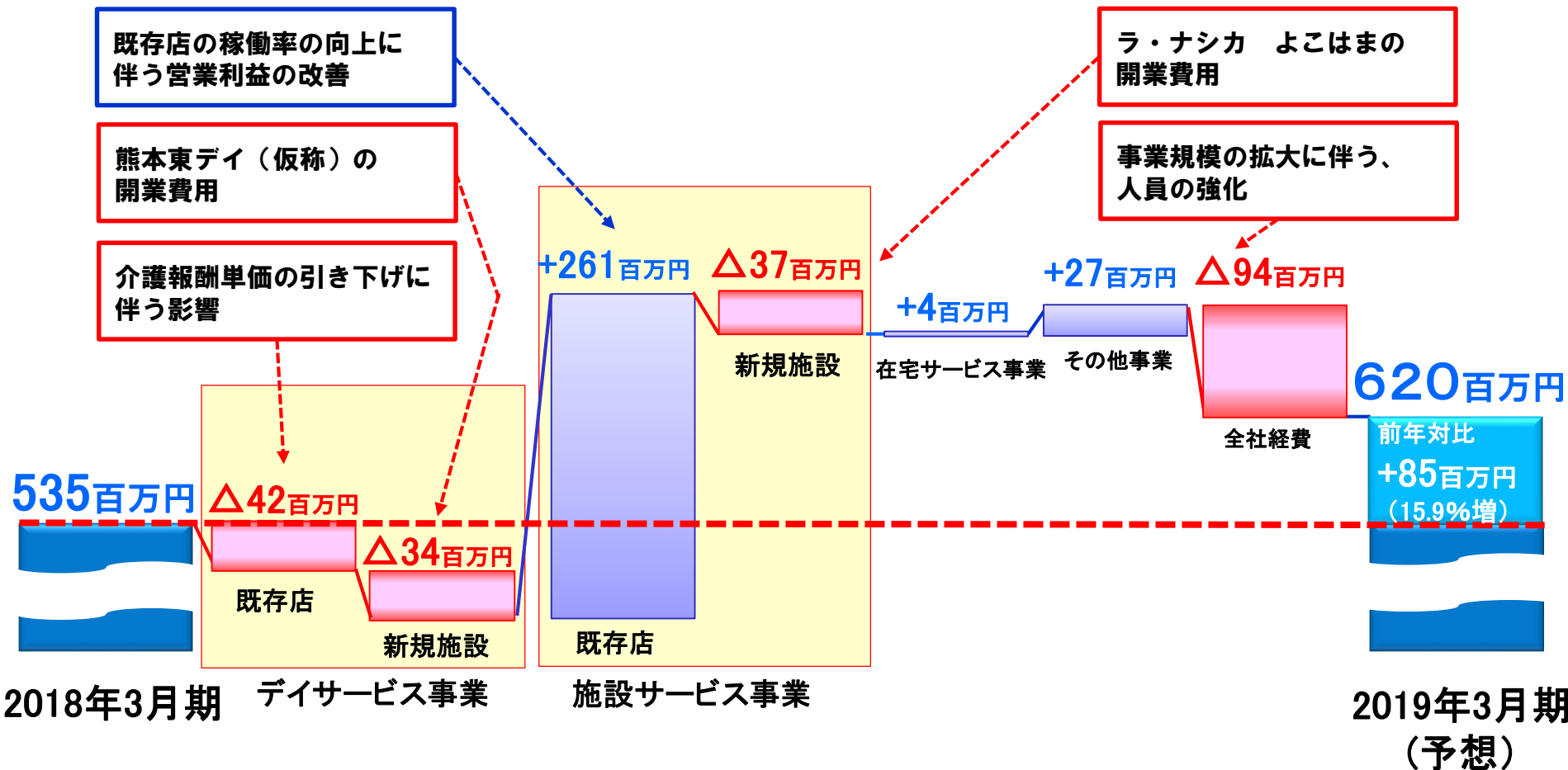
# 2019年3月期セグメント別予想営業利益

(単位:百万円)

営業利益	2018年3月期 (通期)	2019年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	453	377	△76	△16.9%
施設サービス事業	977	1,201	224	22.9%
在宅サービス事業	△67	△62	4	—
その他事業	37	65	27	73.0%
全社費用	△866	△960	△94	—
全事業合計	535	620	85	15.9%

# 2019年3月期セグメント別予想営業利益の主な増減要因

■ 減少要因  
■ 増加要因



---

---



# 配当について

# CEDAR



# 配当金について

- 当社は事業拡大による成長のための投資資金及び内部留保と利益配分とのバランスを念頭に、株主への安定継続した配当に加え業績の伸長に応じた配当を実施することを基本方針としております。  
上記の基本方針を踏まえ、2018年3月期の配当につきましては1株当たり4円の期末配当を実施する予定であります。(4期ぶり復配)  
2019年3月期の配当につきましては、業績予想に基づき、期末配当として1株当たり4円を予定しております。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2017年3月期	—	0円00銭	—	0円00銭	0円00銭
2018年3月期 (予定)	—	0円00銭	—	4円00銭	4円00銭
2019年3月期 (予定)	—	0円00銭	—	4円00銭	4円00銭



# 今後の事業計画

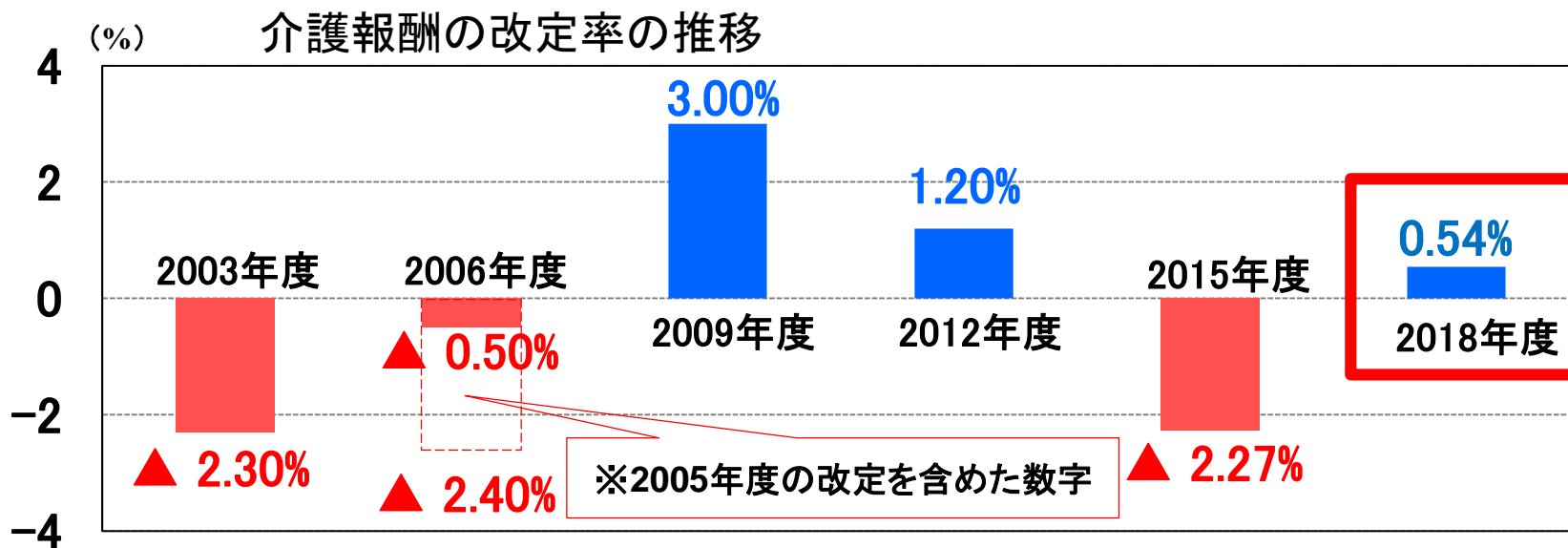


# 介護報酬改定について

## 2018年度介護報酬改定の概要

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、2018年度介護報酬改定により、質が高く効率的な介護の提供体制の整備を推進。

2018年度介護報酬改定改定率: +0.54%



# 介護報酬改定について

## 2018年度介護報酬改定の内容

### I 地域包括ケアシステムの推進

- 中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備

### II 自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

- 介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを実現

### III 多様な人材の確保と生産性の向上

- 人材の有効活用・機能分化、ロボット技術等を用いた負担軽減、各種基準の緩和等を通じた効率化を推進

### IV 介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保

- 介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保



# デイサービス事業

## 通所サービス基本報酬のサービス提供時間区分の見直しについて

通常規模型デイサービス

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
現行の時間区分	評価なし		3～5時間		5～7時間		7～9時間		
報酬の見直し			4.7～ 4.8%減	0%	2.4% 減	0%	1.7～ 1.8%減	0%	
新時間区分	評価なし		3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	8～9時間	

大規模型(Ⅱ)デイサービス

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
現行の時間区分	評価なし		3～5時間		5～7時間		7～9時間		
報酬の見直し			7.1～ 7.3%減	2.6～ 2.8%減	5.9～ 6.0%減	2.7～ 2.8%減	5.2～ 5.3%減	2.7～ 2.8%減	
新時間区分	評価なし		3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	8～9時間	

# 介護報酬改定について

シダールのデイサービスでは・・・

事業所名	事業所規模
八千代デイサービス	大規模Ⅱ
薬円台デイサービス	大規模Ⅱ
六高台デイサービス	大規模Ⅱ
馬橋デイサービス	大規模Ⅱ
甲府南デイサービス	大規模Ⅱ
下関デイサービス	大規模Ⅱ
宇佐町デイサービス	大規模Ⅱ
戸ノ上デイサービス	大規模Ⅱ
徳カデイサービス	大規模Ⅱ
和白デイサービス	大規模Ⅱ
福岡西デイサービス	大規模Ⅱ
行橋デイサービス	大規模Ⅱ
花見川デイサービス	大規模Ⅰ
鎌ヶ谷デイサービス	大規模Ⅰ
甲府デイサービス	大規模Ⅰ
小文字デイサービス	大規模Ⅰ
黒崎デイサービス	大規模Ⅰ

事業所名	事業所規模
香住ヶ丘デイサービス	大規模Ⅰ
舞松原デイサービス	大規模Ⅰ
古賀デイサービス	大規模Ⅰ
御幸ヶ原デイサービス	通常規模
新柏デイサービス	通用規模
上田原デイサービス	通用規模
小牧デイサービス	通用規模
建部デイサービス	通用規模
森松デイサービス	通用規模
幡生デイサービス	通用規模
あすかデイサービス	通用規模
豊前デイサービス	通用規模
小松川デイサービス <small>(認知症対応)</small>	認知症併設
徳カデイサービス <small>(認知症対応)</small>	認知症単独
鳴水デイサービス <small>(認知症対応)</small>	認知症単独

※2018年4月30日現在

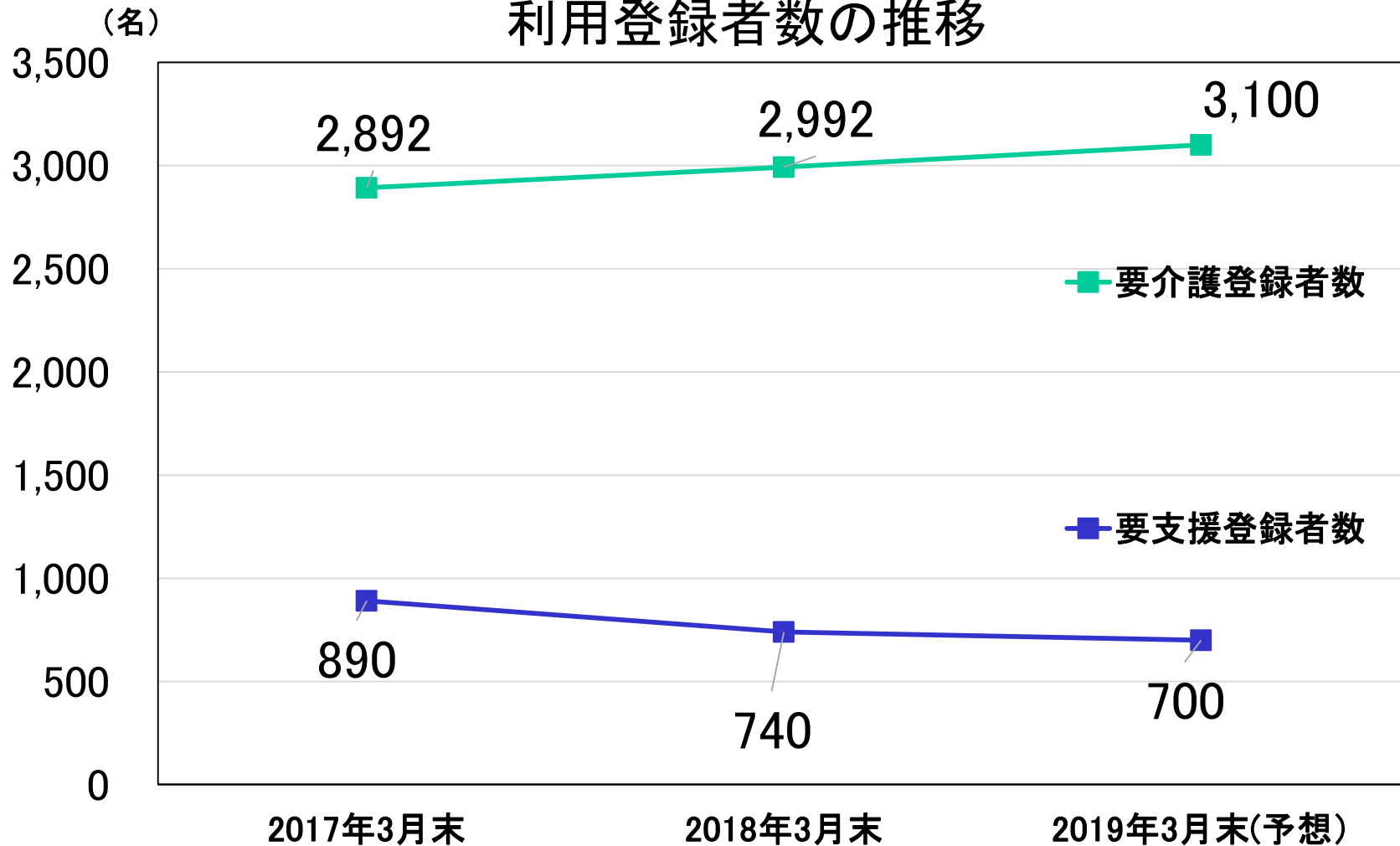
大規模Ⅱ：11事業所 大規模Ⅰ：9事業所

通常規模：9事業所

認知症型：3事業所

# デイサービス事業

## 利用登録者数の推移



# デイサービス事業

## 要支援者・要介護者の利用回数平均の推移

人／回	2017年3月	2018年3月	2019年3月 (見込み)
要支援(1～2)	6.1回	6.0回	6.2回
要介護(1～5)	10.4回	10.2回	10.1回

## 要支援者・要介護者の合計利用回数の推移








	2017年3月	2018年3月	2019年3月 (見込み)
要支援(1～2)	5,400回	4,560回	5,000回
要介護(1～5)	29,430回	30,440回	31,110回

## 要介護者の利用単価の推移

1回あたり／円	2017年3月	2018年3月	2019年3月 (見込み)
利用単価	8,400円	8,490円	8,200円

# 施設サービス事業

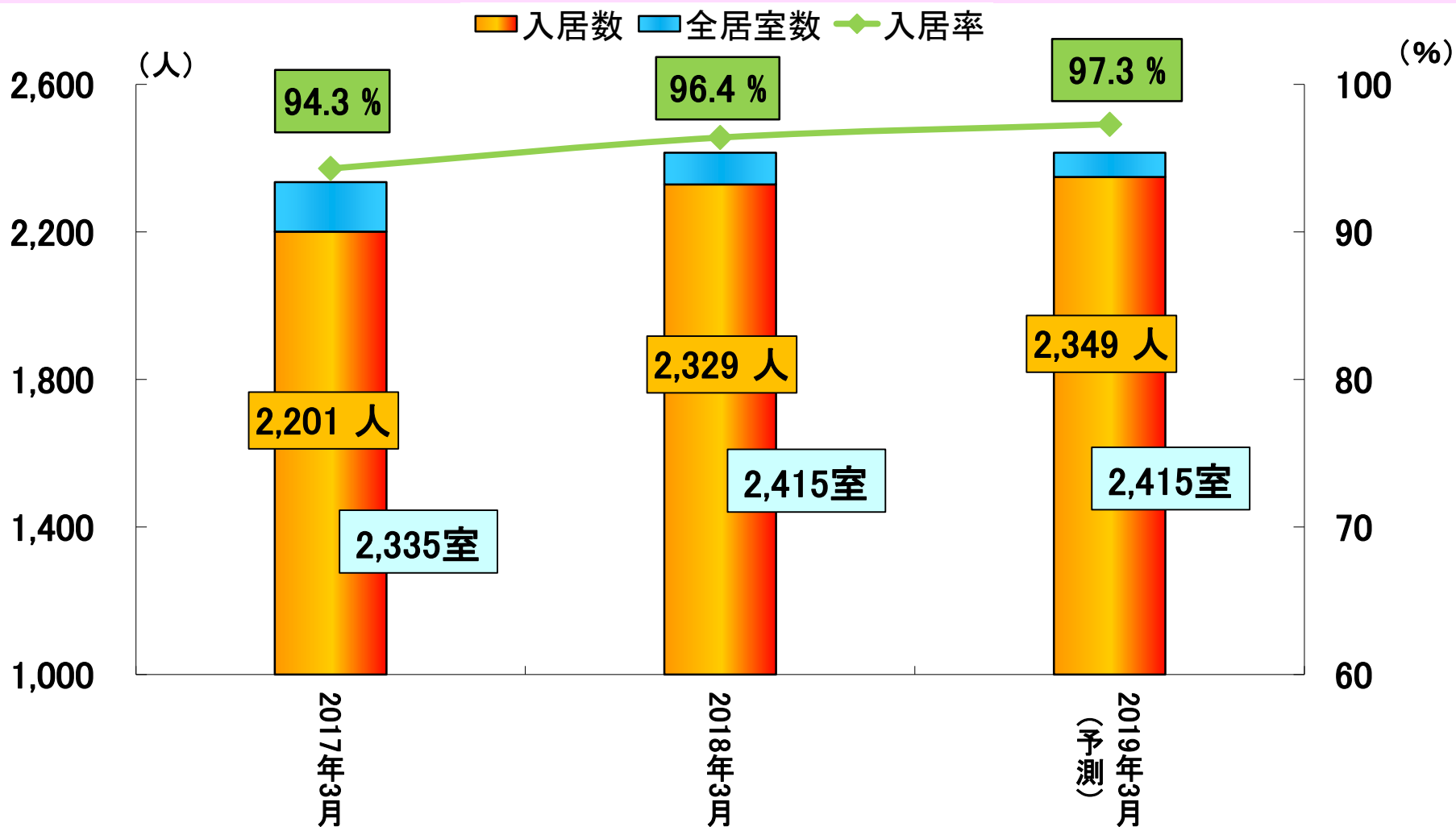
特定施設入居生活介護の基本報酬はすべての介護度で1～2単位引き上げ

要支援1	180単位	(+1単位)		181単位
要支援2	308単位	(+1単位)		309単位
要介護1	533単位	(+1単位)		534単位
要介護2	597単位	(+2単位)		599単位
要介護3	666単位	(+2単位)		668単位
要介護4	730単位	(+2単位)		732単位
要介護5	798単位	(+2単位)		800単位



基本報酬改定による影響はない。

# 施設サービス事業



※2019年3月開所予定のラ・ナシカ よこはまは入居推移に含んでおりません。

# 今後の事業展開 計画地域

開設

開設予定

福岡県福岡市  
舞松原デイサービス(移転)  
舞松原ケアプランセンター(新設)  
2017年12月1日

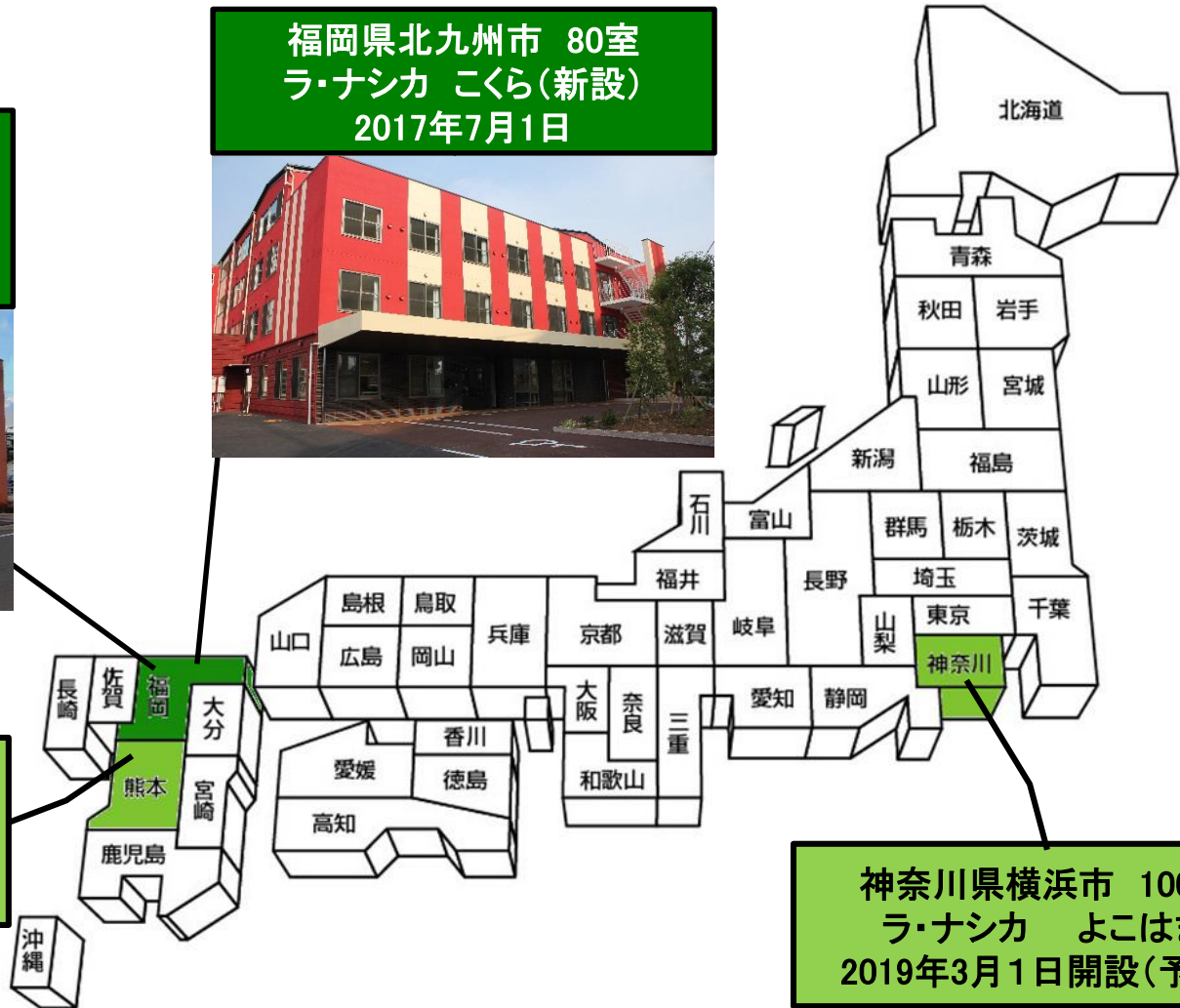


福岡県北九州市 80室  
ラ・ナシカ こくら(新設)  
2017年7月1日



熊本県熊本市  
新規デイサービス  
2018年度中開設(予定)

神奈川県横浜市 100室  
ラ・ナシカ よこはま  
2019年3月1日開設(予定)







# CEDAR 今後の課題





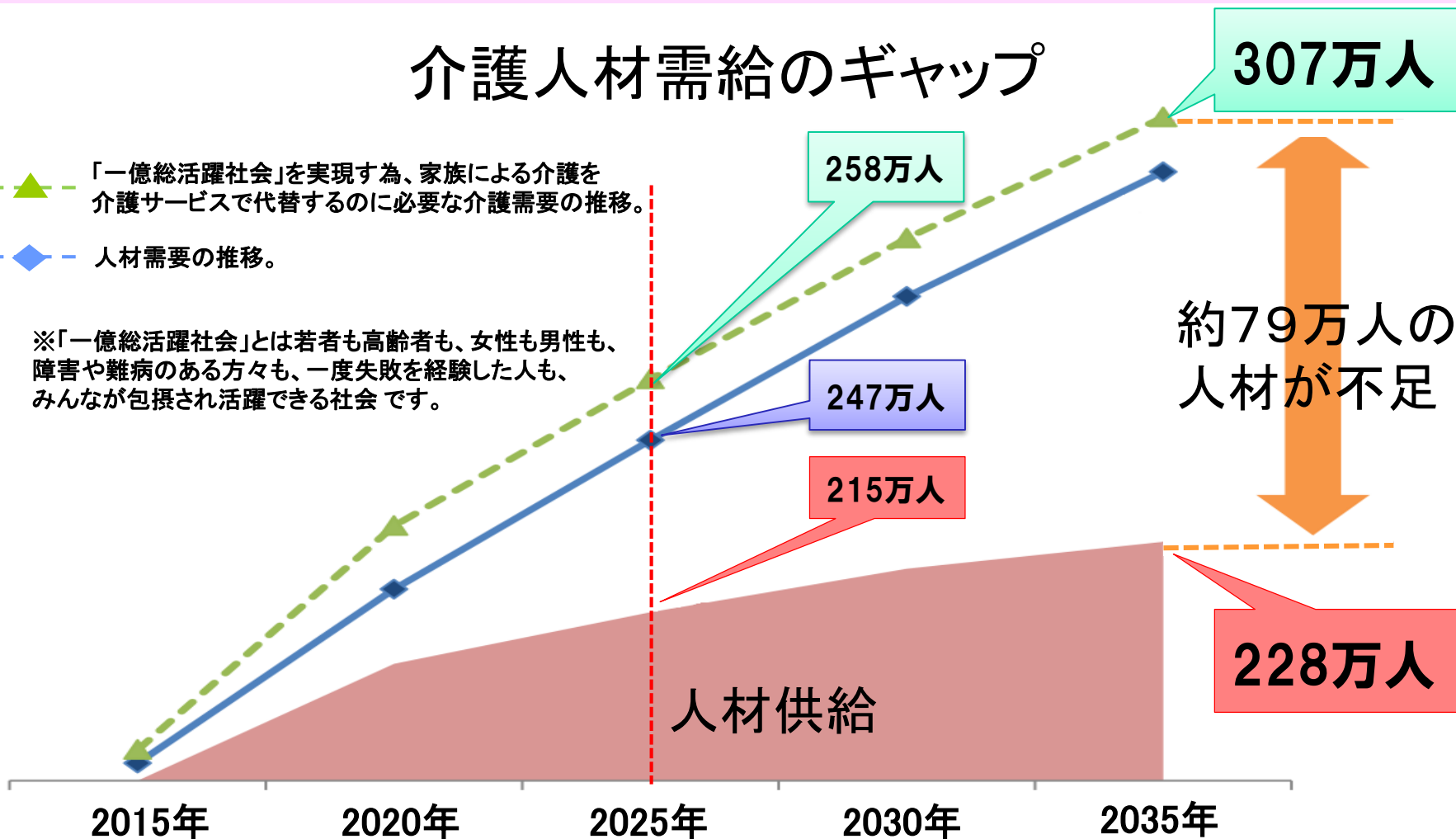
# 介護人材不足について

## 介護人材需給のギャップ

▲ 「一億総活躍社会」を実現す為、家族による介護を介護サービスで代替するのに必要な介護需要の推移。

◆ 人材需要の推移。

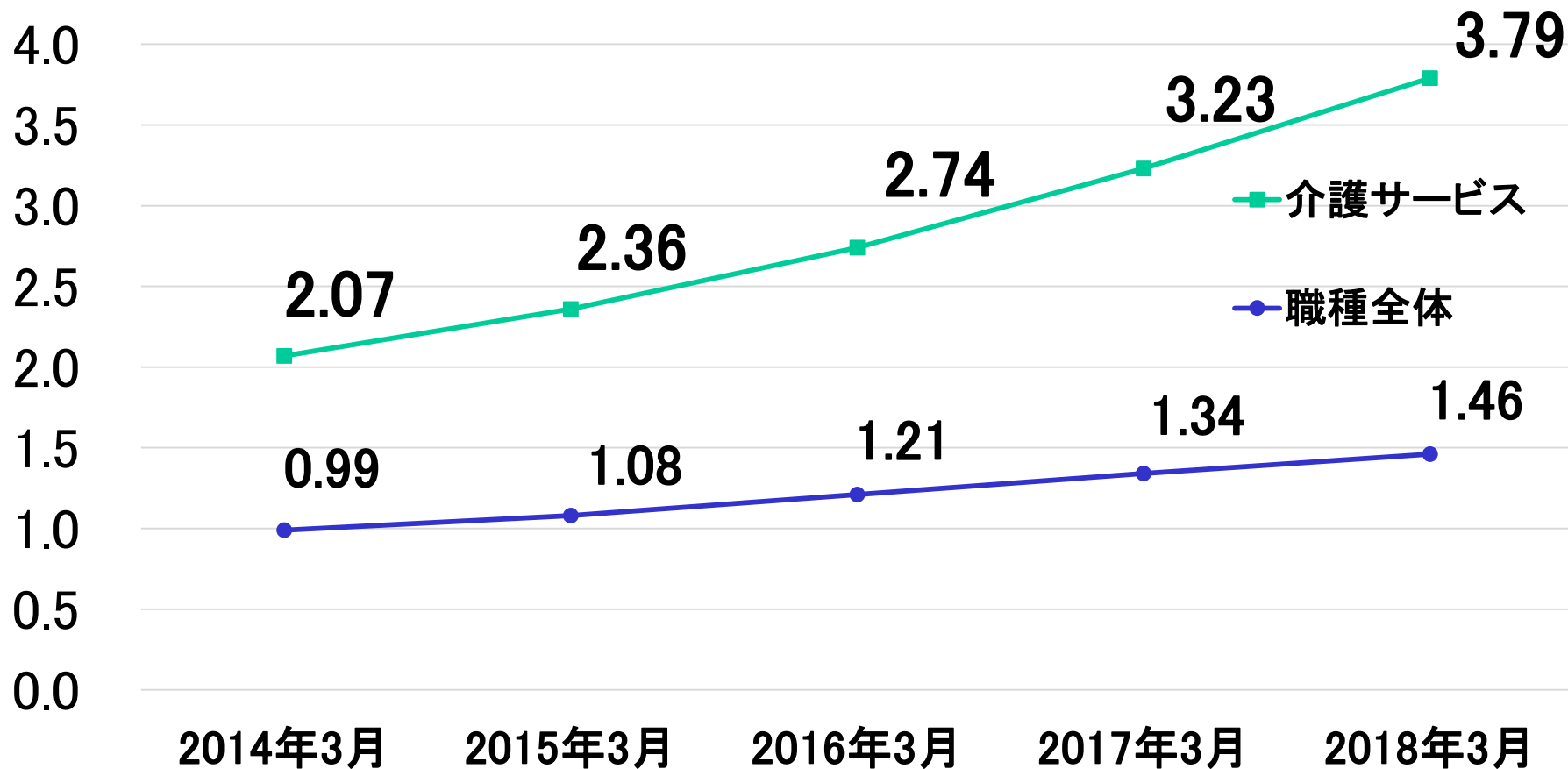
※「一億総活躍社会」とは若者も高齢者も、女性も男性も、障害や難病のある方々も、一度失敗を経験した人も、みんなが包摂され活躍できる社会です。



出典: 経済産業省 将来の介護需要に対する高齢者ケアシステムに関する研究会 報告資料

# 介護人材不足について

有効求人倍率の推移(介護サービス及び、全職種)



出典:厚生労働省ホームページ(一般職業紹介状況について)

# 介護人材不足について

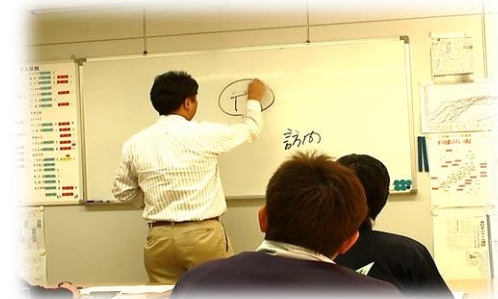
社員のスキルアップの為、社内にて介護に必要な資格を取得可能。

介護職員初任者研修を実施  
実務者研修の実施

※千葉・福岡で開催

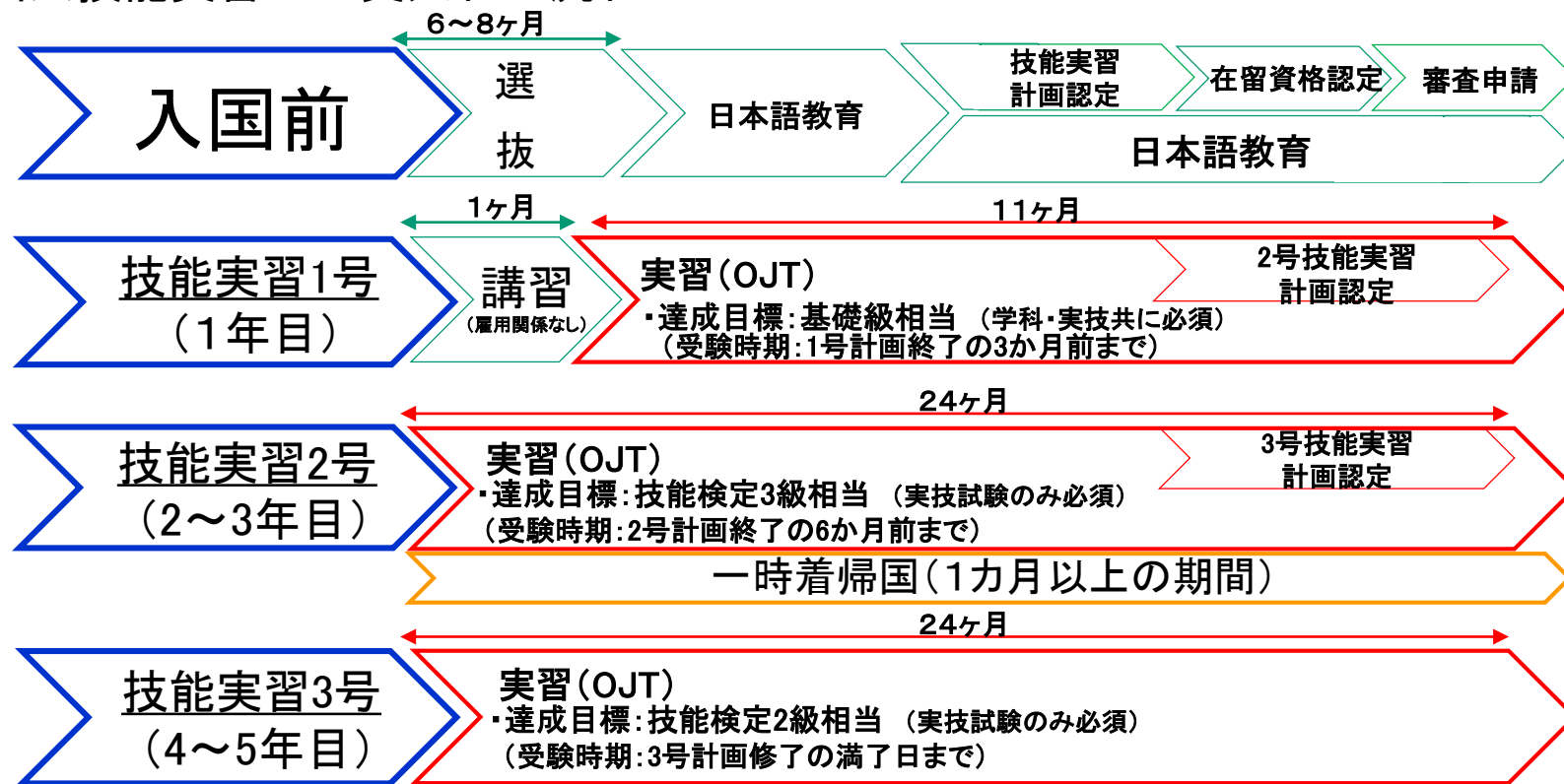


- ・多くの職員が取得できるように研修費を安く設定。  
※他社が行っている講習より安い金額で実施。
- ・会社内で資格を取得できる為、受講日程にあわせて会社の出勤等を調整が可能。



# 介護人材不足について

## 外国人技能実習生の受入れの流れ



現時点では就労期間が5年だが、今後は最長10年の就労を可能とする新制度施行が検討されています。

出典: 公益財団法人 国際研修協力機(JITCO) ホームページより

# 介護人材不足について

## 今後の技能実習制度について

一定の専門性、技能を有し、即戦力となる外国人材を幅広く受け入れる方針。

人の確保が難しく、業種の存続・発展の為、人材の確保が必要な業種(農業・介護・建設・宿泊・造船)。

### 新たな在留資格

技術水準・日本語能力については各業種ごとに異なる。

一定の試験に合格するなどによる高い専門性を有すると認められた者。

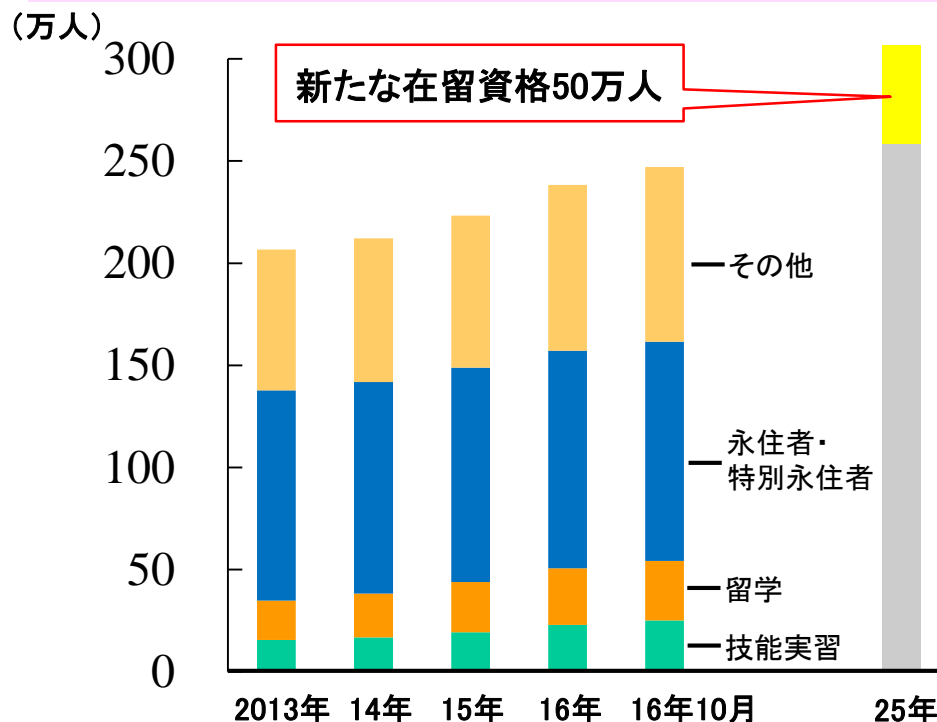
在留期間に上限なし。

家族の帯同も可能。

※現時点において医師や弁護士では認められています。

出典：経済財政運営と改革の基本方針 2018(仮称)(原案)

# 介護人材不足について



出典：法務局 在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表より

2019年4月に新たな在留資格を設ける。



## 受入れの拡大を行う

2025年

## 50万人超えを検討

職種：建設・農業・介護・宿泊・造船の合計。

当社では2019年3月よりラ・ナシカ こぶけ・たかしな・さくらに6名 受け入れ予定。

多くの外国人材を受け入れを可能にする為、社内規定や規則の見直しや、円滑に業務を遂行できるような職場環境、基盤作りが今後重要な課題となる。

# 本資料の取り扱いについて

本資料は株式会社シダーの事業及び業界動向についての株式会社シダーによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確かその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シダーは将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年6月11日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社シダーにより2018年6月11日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません

2018年6月11日 株式会社シダー